

日本中央競馬会平成23事業年度決算等に関する公告

東京都港区西新橋1丁目1番19号
日本中央競馬会
理事長 土川 健之

1. 平成23事業年度の貸借対照表及び損益計算書の要旨

貸借対照表の要旨

一般勘定 (平成23年12月31日現在) (単位:百万円)

| 資産の部 | | 負債及び純資産の部 | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 流動資産 | 394,268 | 流動負債 | 48,416 |
| 固定資産 | 742,355 | 固定負債 | 33,310 |
| 有形固定資産 | 537,184 | 資本金等 | 1,060,661 |
| 無形固定資産 | 22,850 | 繰越利益剰余金 | 6,144 |
| 投資その他の資産 | 182,321 | 評価・換算差額等 | 379 |
| 合計 | 1,136,624 | 合計 | 1,136,624 |

損益計算書の要旨

一般勘定 (平成23年1月1日から平成23年12月31日まで) (単位:百万円)

| 費用の部 | | 収益の部 | |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 事業費用 | 2,308,206 | 事業収益 | 2,306,263 |
| 勝馬投票券諸支払金 | 1,721,510 | 勝馬投票券収入 | 2,301,988 |
| 国庫納付金 | 229,357 | 事業収入 | 4,274 |
| 競馬事業費 | 141,615 | 事業外収益 | 8,033 |
| 競走事業費 | 120,651 | 特別利益 | 28 |
| 業務管理費 | 95,072 | 当期純損失 | 6,344 |
| 事業外費用 | 5 | | |
| 特別損失 | 12,457 | | |
| 合計 | 2,320,669 | 合計 | 2,320,669 |

貸借対照表の要旨

特別振興資金勘定 (平成23年12月31日現在) (単位:百万円)

| 資産の部 | | 負債及び純資産の部 | |
|--------|--------|-----------|--------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 流動資産 | 51,554 | 流動負債 | 73 |
| 固定資産 | 10,072 | 特別振興資金 | 61,553 |
| 有形固定資産 | 9,209 | | |
| 無形固定資産 | 862 | | |
| 合計 | 61,626 | 合計 | 61,626 |

損益計算書の要旨

特別振興資金勘定（平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日まで）（単位：百万円）

| 費用の部 | | 収益の部 | |
|---------------------------|--------------|-----------|--------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 事業費用 | 9,534 | 事業収益 | 2,169 |
| 競馬振興事業費 | 2,001 | 特別振興資金減少額 | 7,364 |
| 畜産振興事業費 | 1,774 | | |
| 払戻金上乘せ費 | 4,682 | | |
| 競馬法附則第 8 条第 2 項 による交付金 | 1,076 | | |
| 合計 | 9,534 | 合計 | 9,534 |

（注）1．固定資産の減価償却の方法は定額法（建物附属設備及び機械・装置については定率法）による。

2．有形固定資産の減価償却累計額は一般勘定で 776,661 百万円、特別振興資金勘定で 3,857 百万円である。

2．主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

- | | |
|------------------|------------------------|
| （1）主たる事務所の所在地 | 東京都港区西新橋 1 丁目 1 番 19 号 |
| （2）ディスクロージャー担当部署 | 総務部 情報公開室 |
| （3）電話番号 | 03 - 5785 - 7930 |

3．平成 24 事業年度の事業計画の概要

（1）競馬の開催

| 競馬場 | 開催回数 | 開催日数 | 競馬場 | 開催回数 | 開催日数 |
|-------|------|-------|-------|------|-------|
| 札幌競馬場 | 2 回 | 1 4 日 | 東京競馬場 | 5 回 | 4 1 日 |
| 函館競馬場 | 2 回 | 1 2 日 | 中京競馬場 | 3 回 | 2 2 日 |
| 福島競馬場 | 3 回 | 2 2 日 | 京都競馬場 | 5 回 | 4 4 日 |
| 新潟競馬場 | 4 回 | 2 8 日 | 阪神競馬場 | 5 回 | 4 2 日 |
| 中山競馬場 | 5 回 | 4 1 日 | 小倉競馬場 | 2 回 | 2 2 日 |

- ・ 合計開催回数 3 6 回
- ・ 合計開催日数 2 8 8 日

（2）馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許の実施

馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許について、厳正に実施する。なお、馬主の登録及びその抹消並びに調教師及び騎手の免許及びその取消しにあたっては、あらかじめ公正審査委員の意見を聴き、厳正を期す。

（3）厩舎関係者の養成等

競馬学校において騎手及び厩務員の養成を行い、技能等の開発・レベルアップに資するため、養成システムを充実し、実践的かつ体系的な指導・教育を行う。また、厩舎関係者に対する研修を実施し、技術・知識の向上等を図

る。

(4) 特別振興事業等

競馬場の周辺地域の住民又は競馬場の入場者の利便に供する施設の整備、地方競馬との連携・協調をより効果的なものとする諸施策その他競馬の健全な発展を図るため必要な事業を特別振興資金を使用して実施する。

畜産の振興に資するための事業に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付する。

特別振興資金を使用して、払戻金への上乗せ施策を実施する。

地方競馬全国協会が行う競走馬生産振興業務及び認定競馬活性化計画への補助業務等に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付する。

4. 平成23事業年度の事業報告の概要

(1) 競馬の開催状況

| 競馬場 | 開催回数 | 開催日数 | 競馬場 | 開催回数 | 開催日数 |
|-------|------|------|-------|------|------|
| 札幌競馬場 | 2回 | 16日 | 東京競馬場 | 5回 | 41日 |
| 函館競馬場 | 2回 | 16日 | 中京競馬場 | 0回 | 0日 |
| 福島競馬場 | 0回 | 0日 | 京都競馬場 | 6回 | 52日 |
| 新潟競馬場 | 5回 | 44日 | 阪神競馬場 | 6回 | 39日 |
| 中山競馬場 | 5回 | 36日 | 小倉競馬場 | 5回 | 44日 |

・合計開催回数 36回

・合計開催日数 288日

(2) 馬主、馬(競走馬)及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許

| 登録等の種類 | 登録等の数 | 取消の数 | 事業年度末数 |
|--------|--------|--------|--------|
| 馬主の登録 | 82名 | 115名 | 2,288名 |
| 競走馬登録 | 5,264頭 | 5,320頭 | 7,933頭 |
| 服色の登録 | 101件 | 130件 | 1,952件 |
| 調教師の免許 | 218名 | 8名 | 210名 |
| 騎手の免許 | 148名 | 7名 | 141名 |

上記のほか、国際交流競走に係る馬主の登録が9名、取消しが5名、競走馬の登録及び取消しが16頭、服色の登録が9件、取消しが5件、調教師の免許が13名及び騎手の免許が21名あった。また、地方競馬との指定交流競走に係る馬主の登録及び取消しが112名、競走馬の登録及び取消しが195頭、調教師の免許が161名及び騎手の免許が162名あった。また、臨時試験による短期騎手免許者が15名あった。

(3) 競走馬の育成

日高育成牧場及び宮崎育成牧場において、2歳馬80頭及び1歳馬79頭の育成を行った。

(4) 騎手の養成・訓練

競馬学校において騎手の養成を行い、7名が卒業した。平成23事業年度末現在の在校生数は19名である。

(5) 特別振興事業等の実施

競馬場の周辺地域の住民又は競馬場の入場者の利便に供する施設の整備その他の競馬の健全な発展を図るため必要な事業を、特別振興資金を使用して実施した。

畜産の振興に資するための事業に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付した。

特別振興資金を使用して、払戻金への上乗せ施策を実施した。

地方競馬全国協会が行う競走馬生産振興業務及び認定競馬活性化計画補助業務に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付した。

5. 政府からの出資額

49億2,412万9千円(資本金の総額)

6. 子会社一覧

| 会社名 | 資本金 | 競馬会の 議決権所有割合 |
|--------------------|-----------|-----------------|
| JRAシステムサービス株式会社 | 500,000千円 | 54.5% |
| JRAファシリティーズ株式会社 | 300,000千円 | 94.9% |
| 日本馬匹輸送自動車株式会社 | 36,000千円 | 100% |
| 株式会社中央競馬ヒール・センター | 20,000千円 | 64.3% |
| 日本スターティング・システム株式会社 | 10,000千円 | 98.4% |
| 競馬セキュリティサービス株式会社 | 100,000千円 | 0% |

子会社を含めた議決権の所有割合100%(平成23事業年度末現在)

7. 組織の概要

(1) 役員の数

理事長 1 人、副理事長 1 人、理事 10 人以内及び監事 3 人以内

(2) 各役員の氏名、役職及び任期等（平成 23 事業年度末現在）

| 役 職 | 氏 名 | 任 期 | 経 歴 |
|--------------|-------|--------------------------------|---------------------------|
| 理 事 長 | 土川 健之 | 平成 23 年 9 月 12 日～26 年 9 月 11 日 | 日本中央競馬会副理事長 |
| 副理事長 | 畑山 光伸 | 平成 23 年 3 月 1 日～26 年 2 月 28 日 | 日本中央競馬会常務理事 |
| 常務理事 | 後藤 正幸 | 平成 23 年 3 月 1 日～25 年 2 月 28 日 | 日本中央競馬会理事 |
| 理 事 | 水野 豊香 | 平成 23 年 3 月 1 日～25 年 2 月 28 日 | 日本中央競馬会 美浦トレーニングセンター場長 |
| 理 事 | 小畠 薫 | 平成 23 年 3 月 1 日～25 年 2 月 28 日 | 日本中央競馬会総務部長 |
| 理 事 | 山川 雅典 | 平成 23 年 3 月 1 日～25 年 2 月 28 日 | 農林水産省 関東森林管理局長 |
| 理 事 | 益満 宏行 | 平成 23 年 3 月 1 日～25 年 2 月 28 日 | 日本中央競馬会競走部長 |
| 理 事 | 星野 年彦 | 平成 23 年 3 月 1 日～25 年 2 月 28 日 | 日本中央競馬会 東京競馬場場長 |
| 理 事 | 小林善一郎 | 平成 23 年 3 月 1 日～25 年 2 月 28 日 | 日本中央競馬会 栗東トレーニングセンター場長 |
| 理 事 | 鈴木 良治 | 平成 23 年 3 月 1 日～25 年 2 月 28 日 | 日本中央競馬会経理部長 |
| 監 事 | 大平 俊明 | 平成 23 年 10 月 1 日～25 年 9 月 30 日 | 日本中央競馬会人事部長 |
| 監 事 (非常勤) | 堀内 俊一 | 平成 22 年 9 月 16 日～24 年 9 月 15 日 | 弁護士 |

(3) 職員の定数（平成 23 事業年度末現在）

1,813 名